



～ごあいさつ～

新年度を迎え、皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。新しい門出の皆さまにとっては、これからの活躍とすばらしい人生の幕明けとなるように心からお祈り申し上げます。

稲沢市議会では、3月定例会が開催されました。令和8年度当初予算の一般会計は、580億円と過去2番目の規模となりました。

歳入は、賃金の上昇が見込まれ、市税が227億7,500万円と過去最大となりました。また、事務事業を見直し等で、約4,000万円の歳出削減、子育て支援対策や、物価高騰対策の新規拡充事業などが含まれています。

令和8年度予算が適切に執行されるかを注視し、市民の皆さま、稲沢市の発展のための政策提言・提案を続けてまいります。

私が大切にしているのは、「ひと」づくりと「まち」づくり、持続可能な地域社会の「みらい」を切り拓き、市民の皆さまに「笑顔」を届けることです。

市民の皆さまと生活の現場・生活者の視点を大切に取り組んでいきますので、ご指導を賜りますように宣しく願います。3月定例会のご報告をさせていただきます。



稲沢市議会議員 星野 俊次

☆病児・病後児施設「いなびあ」が開設

【施設概要】

開所日：令和8年4月1日（水）

場所：稲沢市民病院内 南東部

対象：生後6か月～小学6年生

定員：6名

利用時間：月～金（8:00～18:00）

※祝休日・年末年始を除く

★従来のファミリー・サポート・センターによる預かりも継続されます。

【利用の流れ】

予約システム「テオテ」で利用登録する

医療機関を受診し「利用連絡票」を作成してもらう

システムから予約申込

利用料 1日あたり
市内在住者 2,000円
市外在住者 4,000円



☆地域活動やイベントは、活動の「原点」です！

皆さんと参加してお話を伺う中で、気づきや地域課題を見つけることができます。

お気軽にお声をおかけください。



消防出初式



いなざわTORETATE市



大鏡餅出迎え

～ 3月定例会～

3月定例会は、3月4日から3月24日までの会期で開かれました。市長から提出された議案は、「稲沢市民病院のあり方検討委員会設置条例の制定について」など50件、報告1件、承認1件、同意案1件をいずれも可決、承認、同意しました。

～一般質問の発言内容～

3月10日に一般質問を行いました。

1. 施政方針について
 - (1) 予算編成について
 - (2) 行政運営について
 - (3) 病院経営対策室について
2. まちづくりについて
 - (1) ウェルビーイングなまちづくりについて
 - (2) 中日ドラゴンズ2軍本拠地の誘致について
 - (3) 関係人口について
3. ハラスメント対策について
 - (1) 職員向けアンケート結果と今後の取り組みについて
 - (2) 学校現場におけるカスタマーハラスメントについて

質問を通じて、未来を創る3つの柱



第1の柱：持続可能な行政運営
 財政・人事・DXなどでアップデートし、次世代にツケを残さない強靱な行政基盤を構築する。



第2の柱：ウェルビーイングとまちづくり
 中日2軍誘致や関係人口の創出を通じ、市民の幸福度（ウェルビーイング）と都市の魅力を最大化する。



第3の柱：人を守る職場・教育環境
 市役所も学校も。ハラスメントを許さない風土を作り、働く人と市民を共に守る仕組みを整える。

※私の一般質問は、右記QRコードから視聴可能です。



～質問概要①～

【財政に関する質問】

令和8年度予算編成の特徴と増加している人件費の理由及び今後の財政運営への影響について。

【稲沢市の考え】

令和8年度当初予算は、一般会計では580億円となっている。扶助費が約3億5千万円、人件費が約10億円の増額となり、義務的経費が12億3千万円余の増加となっているが、事務事業を見直し、子育て支援対策や、物価高騰対策の新規拡充事業に取り組んだ。

歳入は、市税が過去最大となり、地方消費税交付金、地方交付税、県支出金の増加となっている。また、市債は、デジタル活用推進債などを活用し、基金繰入金は、公共施設整備基金などにより、基金の活用を図り、不足する財源は、財政調整基金繰入金を計上し、対応した。人件費は、全体で約10億円の増加となった。今後も、人件費は増加するものと考えており、効率化を図り、総人件費を抑えることが、喫緊の課題である。

【星野の考え】

事務事業の再点検で歳出削減を図る一方で、市税収入が過去最大でも当初予算では、財政調整基金から24億円を繰り入れている状況です。行政経営改革と歳入確保が不可欠であり、稲沢市へ提言を続けていきます。特に前年度比10%増の110億円に達した人件費等の義務的経費は削減が困難なため、適正管理と具体的な人事戦略の構築を提案していきます。

STEP 1：予算編成と歳入の現状（財源をどう確保したか）

一般会計予算は580億円

580億円



前年度から14億3,000万円減少。事務事業の再点検による効率化を推進。

市税収入は過去最大の227億円

227億円



賃金上昇の影響で税収は増えたが、依然として厳しい財政状況が続く。

24億円の基金を繰り入れ

24億円



不足する財源を補うため、財政調整基金から過去最大規模の活用を図った。

STEP 2：歳出の課題と将来への対策（何に支出され、何が課題か）

投資的経費と物件費の減少

約25億円削減



汚泥センター完成や文化センター解体完了により、計約25億円の支出を削減。

人件費が10%増の110億円

110億円 (+10%)



定年延長による退職手当の増額などが、財政を圧迫する大きな要因に。

義務的経費の抑制が喫緊の課題



削減が困難な人件費・扶助費に対し、事務効率化による総額抑制を目指す。

～質問概要②～

【デジタル化に関する質問】

稲沢市DX推進計画における「市役所のDX」の現状と今後の具体的な方向性について。

【稲沢市の考え】

稲沢市DX推進計画の基本構想の一つである「市役所のDX」には、業務の見直しから始まり、申請の電子化、RPAを構築するまでの一連の流れをデジタル化する必要がある。

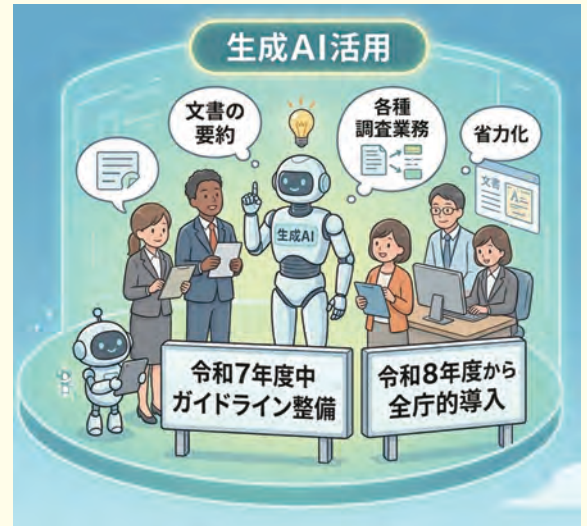
そうした中、19手続きを新たにオンライン化することで、その後の集計作業に係る時間短縮を図っている。さらに、手作業で集計していた10の業務に対し、RPAを活用することで自動化を行っている。

今後は文書の作成や要約、各種調査に係る業務などに対し、生成AIを活用し省力化することが必要となると考えている。

職員が安全に生成AIを利用するためのガイドラインを令和7年度中に整備し、令和8年度からは全庁的に格導入をしていく。

【星野の考え】

市役所内部の業務効率化や生産性向上を図る「市役所DX」こそ、力を入れるべき分野であると考えます。私が目指すところは、データとAIで「支える行政」です。市民の皆さん一人ひとりを、より早く、より確かに支えられる行政へと、市役所のあり方そのものを進化させることです。



【中日ドラゴンズ2軍本拠地誘致に関する質問】

昨年11月、プロ野球中日は、2軍拠点を現在のナゴヤ球場（名古屋市中川区）から2030年代前半をめどに移転する方針を決めた。候補地のなりうる場所やインフラ整備の可能性について、財政面、実現可能性についての稲沢市の姿勢について。

【稲沢市長の考え】

中日ドラゴンズ2軍本拠地の誘致は、市民に夢を与え、地域活性化につながる事業であると認識している。ホームゲームによる交流人口の拡大に加え、トップアスリートとの交流を通じた青少年の育成や、「わがまちのチーム」というシビックプライドの醸成は、市のブランド向上にも寄与するものと考えており、本市の魅力である名古屋駅まで鉄道で約10分圏という地理的優位性を活かすことができる候補地の選定が肝要である。

また、経済波及効果や民間活力の導入といった実現可能性を見極めつつ、国の財政支援の活用や先進事例も参考にしながら、持続可能な事業スキームを調査・研究の上、公募への参加に向け、前向きに取り組んでいく。

【星野の考え】

稲沢市の利便性を最大限に活かす絶好のチャンスです。本市の知恵と工夫を結集し、未来のまちづくりに向けた可能性を切り拓いていく必要があります。ライバルは多いですが、大いに期待し、研究していきます。



★令和8年度の主な新規（拡充）事業

☆課税証明書コンビニ交付システム整備事業 980万円

内容：課税証明書のコンビニ交付サービスを開始のため関連システムの改修・整備を行う。

開始日：令和9年3月（予定）

☆子育て世帯訪問支援事業 2,160万円

内容：家事・子育て等に対して不安や負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を訪問し、家事・子育て等の支援を実施し、家庭や養育環境を整え、虐待リスクなどの高まりを未然に防止する。

☆総合文化センター等跡地活用基本計画事業

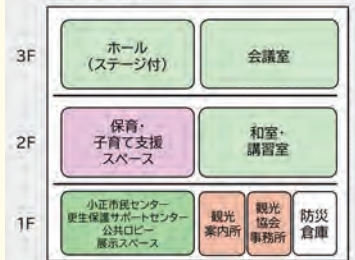
900万円

内容：総合文化センターの跡地整備への民間活力導入の事業化に向け、市民ニーズの把握等を検証した上で策定した基本計画をもとに、専門的な知識や経験に基づく助言を受け、跡地利用を行う事業者を公募する。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	～	令和12年度
基本計画、導入可能性調査	→				
事業者公募		→			
設計・建設			→		★公共施設の供用開始

※総合文化センター等跡地活用事業 基本計画（抜粋）

【配置イメージ】



☆学校給食費支援事業

内容：小中学校給食費全額を支援し、完全無償化する。食物アレルギーのため、毎食弁当を持参している児童・生徒の保護者にも同等の金額を補助する。



期間：令和8年4月分から令和9年3月分まで

☆水道基本料金（準備料金）免除事業

内容：水道基本料金2か月使用分を免除し、経済的負担を軽減する。

対象期間：令和8年度6月～7月分（7月検針分）
及び7月～8月分（8月検針分）



☆屋内運動場空調整備事業

内容：指定避難場所の指定している全小学校の屋内運動場に空調設備を設置するための設計を行う。

令和8年度：実施設計（6校） 稲沢東小学校、下津小学校、小正小学校、祖父江小学校、長岡小学校、六輪小学校

令和9年度：整備工事



病児・病後児施設「いなびあ」が開設



利用の流れ

- 1 予約システム「テオテ」で利用登録
- 2 医療機関受診 & 利用運補票
- 3 システムから予約



A 令和8年4月1日開設
稲沢市民病院内
稲沢市民病院
いなびあ（南東部）
月～金（祝除）
8:00～18:00

B 対象：生後6か月～小学6年生
定員：6名

ご意見・ご要望をお待ちしています！

TEL/FAX:0587-32-9905

E-mail: shunji@pastel.ocn.ne.jp

【プロフィール】

1975年愛知県稲沢市生まれ
稲沢市議会議員（6期）
議会活動

文教厚生委員会委員
議会運営委員会委員
広報広聴委員会委員長
家族：妻と一男一女の四大家族



稲沢勝手に
応援団長
ほし☆のん